

一輪車演技

平成3年より母子幼稚園・母子小学校は一輪車演技に取り組んできました。今年度も、新型コロナウイルスのため1つの発表の場となっていた三田祭りが中止となりましたが、これまでと同じく子どもたちが演目を考え練習し、保護者の方に見ていただく機会をつくることにしました。

また、ビデオ撮影したものをDVDにし、山の峰会館に置くことにしました。

一輪車演技の演目「ライオン・キング」

始業式の後に演目の話し合いを持ち、今年の演目は、「ライオン・キング」に決まりました。曲目が決まると、さっそく2年前よりお世話になっている小池真央先生にお願いし、演技構成を考えていただきました。また、一輪車技術指導として、島川睦望先生をお招きし、直接指導をしていただきました。

4～6月には、技や表現を一輪車授業の時間だけでなく、業間休みや放課後練習の時間を使って繰り返し練習をしました。子どもたちは、個人の技だけではなく、全員で支え合い演技を作っていく難しさを感じながら練習を重ねました。中でも、6年生は、演技の中心になって声をかけ、リーダーシップを発揮してくれました。

緊急事態宣言のため、なかなか島川先生にお越しいただくことがかなわず、7月に4回指導をしていただきました。実際に乗車して技を見せてくださったり、練習の仕方を教えていただいたりしたおかげで、子どもたちはどんどん上達していきました。

7月29日には、感染対策を取りながら保護者の方に向けて一輪車演技発表会を行いました。「メリーゴーランド」「チェーン」などこれまで何度も練習を重ねてきた技をそれぞれ成功させることができました。練習の成果が発揮でき、子どもたちは最高の笑顔で演技を終えました。

講師の先生方や保護者の方々、たくさんの方の支えがあり、今年度も一輪車演技を終えることができました。本当にありがとうございました。



一輪車教室



みんなで力を合わせました。

6年生の演技

